

農林水産商工常任委員会提出資料

(平成25年8月21日)

項目	ページ
1 主要農産物の生産販売状況について	
【生産振興課】	1
2 7月15日の大雨による被害への対策について	
【農地・水保全課】	2
【生産振興課】	〃
【県産材・林産振興課】	〃
3 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について	
【農地・水保全課】	4
4 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について	
【県産材・林産振興課】	5
5 県営境港水産物地方卸売市場の仲卸店舗の売却について	
【水産課】	6
【境港水産事務所】	〃
6 湖山池の漁業振興対策について	
【水産課】	7
【栽培漁業センター】	〃
7 とっとり賀露かっこ館の10周年記念イベントの実施について	
【とっとり賀露かっこ館】	10
8 首都圏における梨の情報発信・販路開拓の取組について	
【市場開拓課】	11
9 平成25年度「食のみやこ鳥取県」特産品コンクールの審査結果について	
【食のみやこ推進課】	12

農 林 水 産 部

主要農産物の生産販売状況について

平成25年8月21日
生産振興課

1 すいか

- (1) 栽培面積：288ha（前年296ha、前年対比97%）
- (2) 生育状況：4月の低温で交配に苦労したが、その後は天候に恵まれて、糖度は高く大玉に仕上がった。
- (3) 初出荷日：全体的に前年よりやや早い出荷だった。
倉吉は6月10日（前年6月8日）
北栄は6月4日（前年6月9日）
- (4) 販売状況：期間を通じて品質は高く、梅雨明けが早いなど天候に恵まれたことから、良好な販売であった。数量は前年並み、単価、販売額は前年より高かった。

区 分	初出荷から7月31日までの販売実績（累計）		
	数量（t）	単価（円/kg）	販売額（千円）
25年度	14,568	188	2,737,688
24年度	14,479	174	2,567,767
前年対比（%）	101	108	107

（全農とっとり販売速報）

2 白ねぎ

- (1) 栽培面積：春ねぎ66ha（前年64ha、前年対比103%）
夏ねぎ79ha（前年74ha、前年対比106%）
- (2) 生育状況：降雪はほとんどなく、順調に生育した。
- (3) 初出荷日：春ねぎは3月1日（前年3月1日）
夏ねぎは6月1日（前年6月5日）
- (4) 販売状況：数量は前年より多く、単価、販売額は前年よりやや低かった。

区 分	3月1日から7月31日までの販売実績（累計）		
	数量（t）	単価（円/kg）	販売額（千円）
25年度	3,129	323	1,011,070
24年度	2,944	384	1,130,863
前年対比（%）	106	84	89

（全農とっとり販売速報）

3 初夏どりブロッコリー

- (1) 栽培面積：150ha（前年152ha、前年対比99%）
- (2) 生育状況：積雪はほとんどなく順調に生育し、前年より前倒しで出荷された。
- (3) 出荷期間：5月～7月上旬
- (4) 販売状況：前年より単価は低かったが、数量は多く、販売額は高かった。

区 分	5月1日から7月31日までの販売実績（累計）		
	数量（t）	単価（円/kg）	販売額（千円）
25年度	1,408	274	385,768
24年度	1,077	319	343,316
前年対比（%）	131	86	112

（全農とっとり販売速報）

4 ハウス二十世紀梨

- (1) 栽培面積：24ha（前年26ha、前年対比92%）
- (2) 生育状況：ハウスのビニール被覆により、春期の低温被害、降雹被害もなく、果実肥大、品質ともに良好に仕上がった。
- (3) 初出荷日：8月2日（前年8月5日）
- (4) 販売状況：盆前出荷率は約75%と高く、単価は前年並みの高値であり、数量も多く好調な販売となっている。

区 分	初出荷から8月17日までの販売実績（累計）		
	数量（t）	単価（円/kg）	販売額（千円）
25年度	517.8	550	284,790
24年度	481.8	564	271,735
前年対比（%）	107	98	105

（全農とっとり販売速報）

【参考】

「二十世紀梨」

- ・春期の低温や4月26日の降雹による被害が心配されたが、10a当たり被袋数は概ね前年並みとなっている。
- ・8月21日に査定会を開催し、初販売日（前年8月30日）を決定する。

「なつひめ、新甘泉」

- ・全県的な糖度基準（なつひめ：11.5度、新甘泉：13度）に沿って、JA毎に糖度センサー付き選果場で広域選果し、品質の統一を図っている。
- ・8月18日の査定会により、販売開始は8月24日に決定した。

7月15日の大雨による被害への対策について

平成25年8月21日
農地・水保全課
生産振興課
県産材・林産振興課

7月15日の大雨による被害の対策について、7月30日に農林水産商工常任委員会及び地域振興県土警察常任委員会より御提言をいただきました。その提言に対する対応方針について報告します。

(農林水産業の被害状況は別紙のとおり)

1 公共農林業施設の早期復旧に努めること

(対応方針)

- ・国や市町村と連携し、速やかに災害査定が行われるよう調整するとともに、農業水利施設、農道、林道で営農や施業に支障を来しているもの、被害拡大が懸念されるものについては、応急処置や査定前着工ができるよう復旧工法や積算等について必要な助言を行いながら、市町村と協力し早期復旧に努めていく。

2 田畑や農作物の被災は、農業者に対して、精神的な苦痛をもたらすとともに、生産意欲を減退させる可能性を内在する。

そのため、田畑の被災については、被災箇所が速やかに復旧するよう施策を検討すること。また、農作物の被災については、共済制度を最大限活用するとともに、被害が最小限となるよう施策を講じること

(対応方針)

- ・この度の災害について、県内全域が激甚災害に指定されたことにより、国庫補助の嵩上げ並びに交付税措置のある起債（農地等小災害復旧事業債）が受けられ、農家の負担が大きく軽減されることとなった。
- ・県としては、国の起債措置が適用されない小規模な農地復旧を早急に進めるため、「鳥取県しっかり守る農林基盤交付金」（単県事業）の予算を増額し、支援を行う考え。
- ・土砂流入等により被害が発生した水稻については、共済制度や経営所得安定対策に係る交付金等の活用により、一定の収入が確保される見込み。また、普及所やJAが中心となって事前事後対策を指導しており、土砂流入等で収穫できなくなったものを除くと、作物への被害は軽微と見込まれる。

3 関係町への被災地に対する技術的支援を行うこと

(対応方針)

- ・農地等に大きな被害が発生した江府町については、町からの要請に応じて技術職員を2名派遣し、1週間にわたって被災状況の把握に係る支援を行った。また、林道災害においては、日野振興センターへ技術職員を1名追加配置している。
- ・今後、災害査定に向けて、復旧工法や積算等について市町村へ必要な助言を行う。

4 被災地に復旧予定を示し、住民の安心感を醸成すること

(対応方針)

- ・この度、激甚災害の指定が早期に行われたことにより、農家負担に一定の見通しがつき、復旧に向けた動きを加速することが可能となった。
- ・県としては、国や県の取組みを住民の方々に周知するとともに、引き続き、市町村に対する技術的支援を十分に行いながら、復旧計画が円滑に進むよう努める。

大雨による農林水産業の被害状況について

7月15日

被害金額：1,396,643千円

区分	被害内容	被害か所数・面積・延長	被害金額	備考
農作物	水田への土砂流入による水稲被害	14か所・2.39ha	2,698千円	南部町 江府町
農地	水田・畑畦畔の一部崩壊又は土砂流入	434か所・60.00ha	582,690千円	江府町 南部町 他7市町
農業用施設	水路・農道の法面又は水路崩壊、土砂流入、橋梁流出等	295か所・6,859m	648,450千円	江府町 南部町 他6市町
林道、林地	林道（作業道含む）の法面又は路肩、造林地崩壊等	64か所・4,362m	162,805千円	南部町 伯耆町 他5市町

〈参考〉

6月19日

被害金額：13,000千円

区分	被害内容	被害か所数・面積・延長	被害金額	備考
農地	水田・畑畦畔の一部崩壊又は土砂流入	3か所・0.44ha	3,000千円	日南町
農業用施設	水路・農道の法面又は水路崩壊、土砂流入	4か所・—	10,000千円	伯耆町、日南町

8月1、5日（8月19日現在）

被害金額：164,150千円

区分	被害内容	被害か所数・面積・延長	被害金額	備考
農地	水田・畑畦畔の一部崩壊又は土砂流入	45か所・5.77ha	62,500千円	鳥取市、岩美町、 大山町、伯耆町、 南部町
農業用施設	水路・農道・ため池の法面又は水路崩壊、土砂流入	47か所・—	96,050千円	鳥取市、岩美町、 倉吉市、北栄町、 琴浦町、大山町、 伯耆町、南部町
林道	林道（作業道含む）の法面又は路肩崩壊等	3か所・36m	5,600千円	岩美町、鳥取市、 八頭町

○被害金額

6月19日： 13,000千円
7月15日： 1,396,643千円
8月1、5日： 164,150千円

合計被害金額 1,573,793千円

※8月1、5日は、8月19日判明分

(被害内容内訳)

農作物 2,698千円、農地 648,190千円、農業施設 754,500千円、林業 168,405千円

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

主務課		工事場所		契約の相手方		契約金額		工期		契約年月日		工事内容		摘要	
【新規分】	農地・水保全課 (中部総合事務所森林局)	船上山地区 地域用水環境整備事業 (小水力発電所水車発電機等製作据付)工事	東伯郡 香浦町 山川	田中水力株式会社 代表取締役 田中 幸太	120,645,000円 (設計額 127,890,000円) 落札率94.3%	平成25年8月5日 ～ 平成26年9月30日	平成25年8月5日	【工事内容】 水車・発電機および配電盤等電気設備の製作据付工事 水車 N=1台 発電機 N=1台 配電盤・情報伝達装置等 1式	制限付 一般競争入札 2社 平成25年7月25日入札	平成25年8月21日	農地・水保全課				

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成25年8月21日
県産材・林産振興課

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事概要または変更理由	摘要
県産材・林産振興課 (中部総合事務所 農林局)	林道若樫・江府線開設工 事(助谷工区)	東伯郡 三朝町 助谷	株式会社 クラエー 代表取締役社長 西村博文	(当初契約額) 106,470,000円	平成24年8月8日 ～ 平成25年3月15日	(当初契約年月日) 平成24年8月8日	林道開設 延長 L=(388.0)397.6m 幅員 W=7.0m ○変更内容(716千円増) ・No.4240右の法面について、6月中旬の降雨により崩壊したため、法面整形を行い、法面の安定を図ることとする。 ・工期の延伸については、上記増工により、施工日数を要したことによる。	
				(第1回変更後契約額) 112,849,800円	(変更後工期) 平成25年7月31日	(第1回変更契約年月日) 平成25年3月14日		
				(第2回変更後契約額) 113,565,900円 (変更額) 716,100円	(変更後工期) 平成25年8月31日	(第2回変更契約年月日) 平成25年7月25日		

県営境港水産物地方卸売市場の仲卸店舗の売却について

平成25年8月21日
水産課
境港水産事務所

県営境港水産物地方卸売市場の仲卸店舗（土地及び建物）について、公募型プロポーザル方式による売却を調達公告したところ、山陰旋網漁業協同組合の1団体から参加申込みがあり、参加資格を満たしていると判断しました。

今後は、公募型プロポーザル企画提案書を受付け、審査し最終決定を行います。

概要

1 売却目的

魅力ある水産物直売センター整備を行うため、境港水産物地方卸売市場の仲卸店舗の有益な活用を図る。

2 売却物件

土地 駐車場敷地等（境港市昭和町） 8,563.66㎡
建物 仲卸店舗等（同上） 1,949.84㎡

3 売却価格

69,200,000円以上

4 主な参加資格

①県内に主たる事務所を有している者 ②滞納処分を受けていない者

1 経過

○ 仲卸店舗の売却を前提に「鳥取県営境港水産物地方卸売市場の設置等に関する条例」の一部を改正し、市場施設のうち仲卸店舗を廃止した。施行日は規則で定める日とした。（平成18年1月議会）

○ 仲卸店舗の売却について、購入後の施設運営の企画提案を審査の上、売却先を選定する公募型プロポーザル方式とすることを決定した。（平成25年2月議会の森岡議員一般質問においても、同趣旨の答弁を行った。）

○ 「さかいみなど漁港・市場活性化ビジョン」に将来の構想として、魅力ある水産物直売センターの姿として次のとおり明記した。（平成25年3月）

<主なもの>

- ・四季折々の新鮮な水産物が豊富にあること。
- ・地元で水揚げされた水産物を用いた食事が提供できること。
- ・お客様の求めに応じて、調理（3枚おろし等）ができること。

○ 山陰旋網漁業協同組合から、企画提案参加申込があった。（8月8日受付）

2 売却までのスケジュール

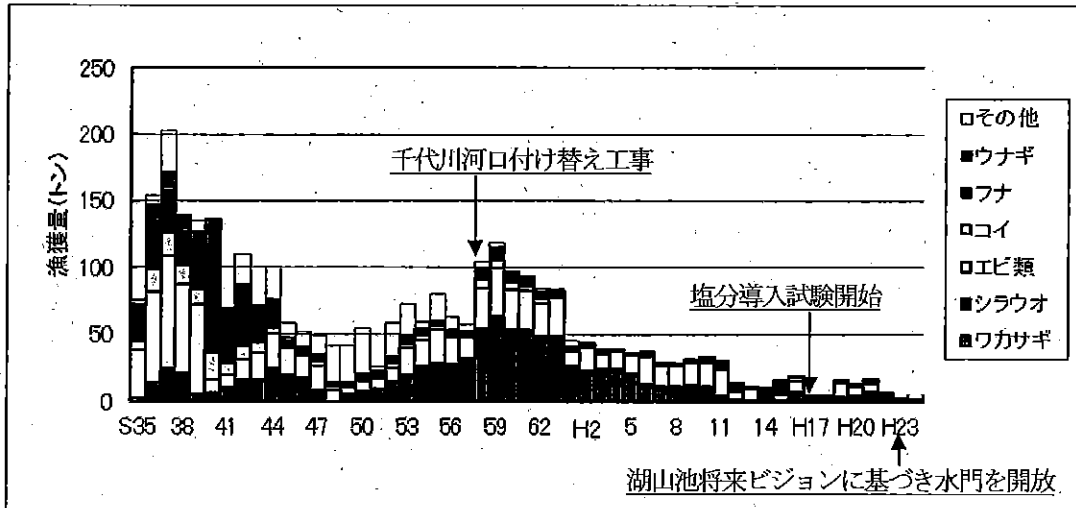
月 日	内 容
7月31日（水）	調達公告
8月1日（木）～9日（金）	企画提案参加申込書等の受付（申込数：1団体）
8月19日（月）	書類審査結果の通知
8月30日（金）	現場説明会の実施
9月2日（月）～30日（月）	公募型プロポーザル企画提案書等の受付
10月中旬	公募型プロポーザル企画提案書審査委員会の実施
11月上旬	同結果の通知
11月下旬	売却（登記）

湖山池の漁業振興対策について

平成25年8月21日
水産課、栽培漁業センター

1 これまでの漁獲状況等

○湖山池は、昭和37年にはエビ類を中心に203トンの漁獲があるなど豊かな漁場であったが、昭和58年の千代川河口付け替え工事直後に塩分濃度が急上昇したことから、水門操作による塩分濃度の抑制を開始したところ淡水湖となり、アオコの発生やヒシの大量繁茂等による環境悪化が進み、エビ類やワカサギなど汽水性魚種が減少し始めた。



湖山池の漁獲量の推移

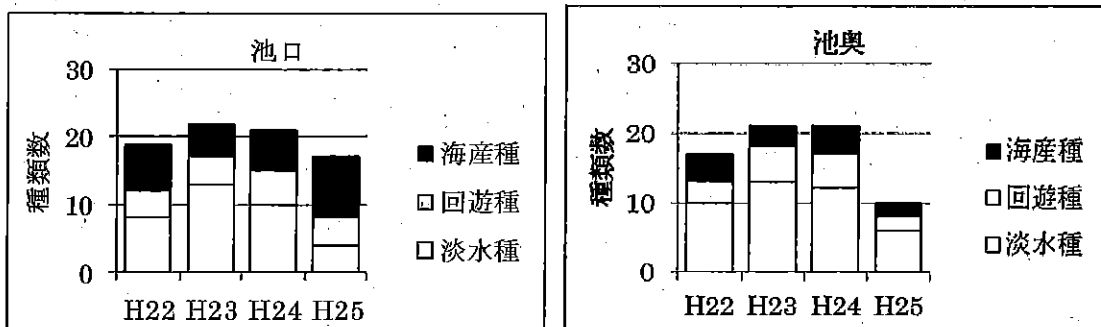
○平成17年からの塩分導入実証試験以降、湖山池の漁獲量は一層不安定となり、異臭原因となるプランクトンの繁殖等も相まって、近年の漁獲量は1トン程度と低迷している。

(単位：トン)

	H20	H21	H22	H23	H24
ワカサギ	1.0	1.0	0.2	0.0	0.0
シラウオ	3.0	6.0	2.5	0.1	0.0
エビ類	7.0	6.0	0.4	0.1	0.0
コイ		1.0	0.5	0.3	0.0
フナ	1.0	1.5	1.5	1.0	1.0
ウナギ	0.4	0.4	0.6	0.1	0.1
その他			0.1		
合計	12.4	15.9	5.8	1.6	1.1

近年の湖山池の漁獲量

○平成24年3月に湖山池将来ビジョンに基づき湖山川水門を開放し塩分導入を開始した後に、タナゴ類、オイカワ、モツゴ等の淡水性魚種は減少したが、ハゼ類、コノシロ、サツパ、イサキ等海産性魚種は増加傾向にあった。

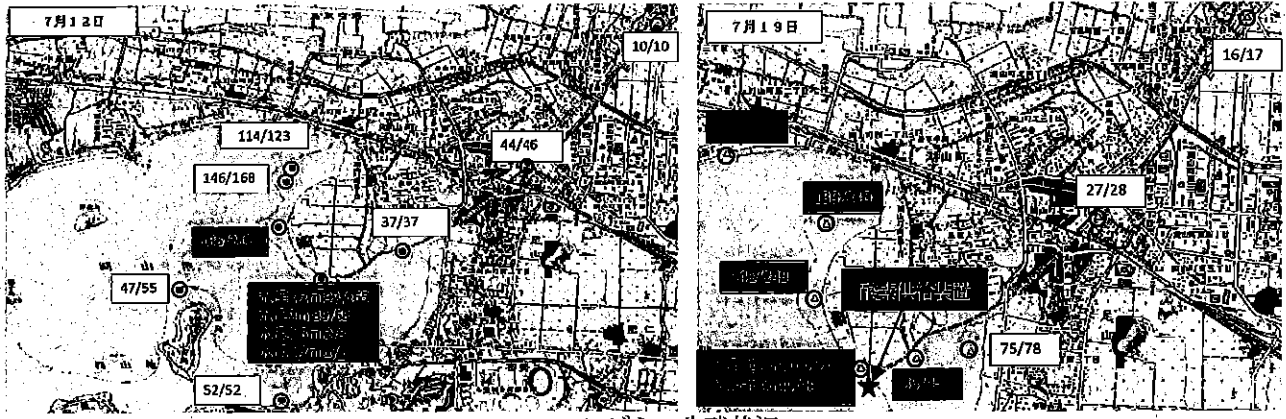


小型定置網に入網した魚介類の種類数 (1~7月)

2 魚類等大量斃死の漁業への影響

○7月9日に発生した大量斃死魚の多くはコノシロ、サッパ、ボラ等であり漁獲対象種ではないため、漁業への影響は少ないと考えられるが、栽培漁業センターの生物資源調査により漁業への影響について継続的に監視していく。

○増殖試験中のヤマトシジミ（以下「シジミ」という）については、7月12日及び19日の調査で瀬地区周辺（鳥大附属中グランド西側）において、40%程度の斃死があったが、湖山池全体ではさほど大きな影響はなかったと考えられる。しかし、夏季には貧酸素化によるシジミ資源等の斃死が懸念されるため、シジミの斃死数が多かった瀬地区周辺を貧酸素改善の調査対象区域として、酸素供給装置を設置（8月9日）し、栽培漁業センター及び衛生環境研究所が効果検証を行うこととしている。



シジミの生残状況

*数値は生貝数/測定数、赤塗りは斃死の多い地点

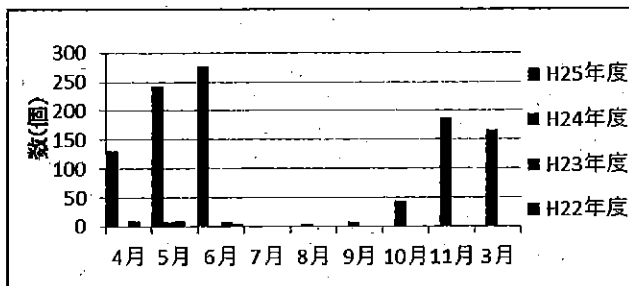
3 漁業資源増殖のための取組

<シジミ>

○湖山池は、環境が大きく変化する過渡期であり、生態系が安定していないため漁業資源も不安定な状況にあるものの、シジミの資源創出が期待できる漁場環境が形成されつつあったことから、栽培漁業センターでは平成20年度からシジミ増殖試験（産卵親貝の放流、増殖状況調査、増殖手法の検討等）に取り組んできた。

○成果

- ・池口に囲い網を設置して、親貝を收容し産卵促進を図る取組を実施した結果、今年度には池内の広い範囲に稚貝の分布が見られるようになり、稚貝の生残・育成も順調である。
- ・増殖試験は始まったばかりで、生息密度は他の湖沼と比べるとやや少ないが、今後も順調な産卵が続けば資源の創出に期待が持てる（漁業関係者もシジミが有望な漁業資源となり、湖山池が東郷池に次ぐシジミ産地となることを期待している）。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	3月
H25年度	131	242	276						
H24年度	0	9	0	0	4	9	44	187	167
H23年度	10	10	7	0	0	0	0	0	
H22年度	0	0	5	0	0	0	0	0	

1m²当たりのシジミの個数(10定点平均)



短時間に素手で採集された稚貝（漁協前）

産地	生息密度 (1m ² 当たり)	備考
湖山池	276個	最も多い定点で600個/m ²
東郷池	486個	H23年度調査
宍道湖	3961個	H22年度調査

湖沼のシジミ生息密度
(1m²当たり個数)

＜シジミ以外の魚種＞

○塩分導入が湖山池内の魚介類に与える影響等を把握するため、栽培漁業センターでは平成17年度から生物資源調査（定置網、曳き網への魚介類入網状況等）に取り組んでおり、漁業資源として有望な魚種の絞り込みや最適な増殖手法の検討を行うこととしている。

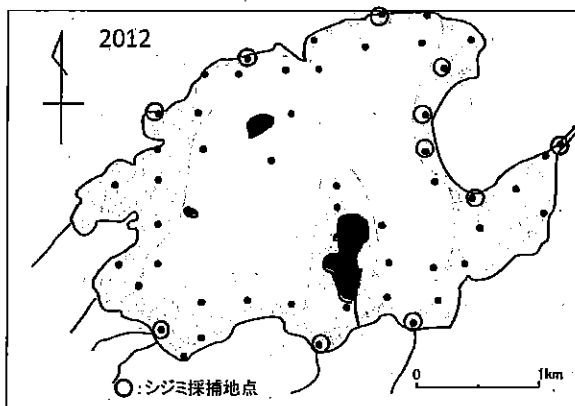
○水産課としても、次回（9月1日～）免許する湖山池の漁業権免許期間を5年間としている。（通常は10年間であるが、環境の変化に対応するために短期免許とする。）

4 漁業振興対策

○シジミ資源の創出対策

湖山池漁協と協力して、これまで取り組んできた増殖手法（親貝保護区域の設置等）や水質環境の適性などの検証を進めるとともに、今後、覆砂による浅場造成などに取り組む。

※ 湖山池でシジミの生息が可能と推定される漁場において、漁場面積あたりの漁獲量が東郷池と同程度となるものとして推計すると、将来的には200～300トンの漁獲が期待できる。



シジミ生息可能域（水色部分）

*生きた底生動物が採捕された地点からシジミ生息可能域を推定した(H24)。今年度は、シジミ生息域を詳細に調査する予定。（池周辺に広範囲に生息している可能性が高い。）



湖内で採集されたシジミ（6月24日）

*既に殻長3cm以上に成長したシジミも生息している。

○シジミ以外の魚種の増殖対策

漁業資源として有望な魚種の絞り込みや最適な増殖手法の検討により得られた知見をもとに、漁場環境が安定するまでの間、漁協に対する増殖技術の助言や指導、各種の支援を実施していく。

○漁場環境改善対策

湖山池将来ビジョンで定めた塩分濃度の目標値(2,000～5,000mg/l)は、漁業振興の観点からも有効と考えられることから、今後、漁協や関係課とともに達成に努めていく。

今後の湖山池漁業振興の進め方

シジミの効果的な増殖策等を考えるために平成24年6月1日に設置した湖山池漁業振興対策会議（構成員：湖山池漁協、鳥取市及び鳥取県の農林水産部、生活環境部、県土整備部の関係課）を活用し、上記の対策を進めるとともに、シジミ漁業を中心にしながら季節によりシジミ以外の漁業を組み合わせる複合的な漁業経営の実現に向けて検討を進めて行く。

とっとり賀露かにっこ館の10周年記念イベントの実施について

平成25年8月21日

とっとり賀露かにっこ館

とっとり賀露かにっこ館は、平成15年8月にオープンし、平成25年7月20日で入館者総数200万人を達成したところですが、このたび、8月10日で開館10周年を迎えたのを記念し、下記のとおりイベントを実施します。このイベントは、来館者への感謝と地域の皆様や周辺施設の方々とのより一層の連携強化を図るため、かにっこ館内のみならず隣接施設のとりっこ広場を活用し、賀露地域全体を盛り上げていくよう企画しています。

【10周年記念イベントの概要】

1 開催日

平成25年8月24日（土）

2 場所

かにっこ館及びとりっこ広場

3 イベント内容

(1) かにっこ館内イベント（10：00～16：00）

○地元漫画家「たかつかせいじ氏」による似顔絵コーナー

○かにっこ館10周年記念クイズ

○海の生き物（サメなど）タッチングなど

(2) とりっこ広場ステージイベント（10：00～13：30）

○賀露神社麒麟獅子舞保存会による麒麟獅子舞

○賀露みどり保育園によるマーチングバンド

○サプライズゲスト「さかなクン」からのお祝いメッセージ

○全国都市緑化とっとりフェアのPR&花トリピーとのじゃんけん大会

○地元漫画家「たかつかせいじ氏」による似顔絵教室

○水産バンドオンステージ

○かにっこ館10周年記念大抽選会など

<参 考>

とっとり賀露かにっこ館は、かにを中心とした水産生物の展示及びその生態等の紹介を行うことにより、観光及び水産業の振興を図るとともに、賀露地域のにぎわい創出を目的とした施設であり、平成15年8月10日にオープンした。

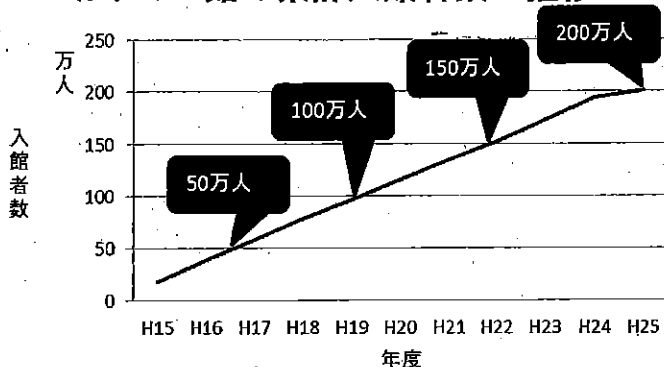
最近では、子育て目的の来館者にも好評を得ている。

先月、200万人の達成を記念して、セレモニーを実施した。

【入館者200万人達成セレモニーの様子】



かにっこ館の累計入館者数の推移



首都圏における梨の情報発信・販路開拓の取組について

平成 25 年 8 月 21 日
市場開拓課

首都圏における新品種（新甘泉、なつひめ）をはじめとする鳥取の梨の情報発信・販路開拓の取組について下記のとおり報告します。

記

1 品川駅での新甘泉・なつひめのPR

【実施期間】8月26日(月)～9月8日(日)

【場所】ecute 品川（東京都港区高輪、JR品川駅内）

【内容】シェフパティシエ森田一頼氏による鳥取県産梨を使ったオリジナル梨スイーツの販売を行います。オリジナル梨スイーツは9月オープン予定のレストラン「リベルターブル」においても提供する予定です。

2 銀座三越店での「食のみやこ鳥取県フェア」

【開催期間】8月27日(火)～9月3日(火)

【場所】銀座三越店（東京都中央区銀座）地下2、3階

【内容】菓子、弁当、水産加工品、漬物、畜産加工品などの7業者が出展し、二十世紀梨及び新甘泉の試食PR、販売を行います。着ぐるみ（花トリピー）等による鳥取県PRを併せて実施します。

3 ブランド化女子会☆梨新品種 2,000 人の大試食会

【開催日】8月28日(水)

【場所】プランタン銀座（東京都中央区銀座）正面ロイイベントスペース

【内容】鳥取県農水産物ブランド化女子会による新甘泉・なつひめの試食及びアンケートを実施し、併せてブランド化女子会が考案したパッケージで梨を販売します。

4 アンテナショップ5周年イベント

①8月29日(木)

食のみやこ鳥取プラザにおいて梨のプレゼント及び試食PRを実施します。

②8月29日(木)～9月7日(土)

レストラン・トットリーネにおいて、新甘泉や鳥取和牛オレイン55を使用したフェアを実施します。

5 野菜の日イベント

【開催日】8月31日(土)

【場所】東京ソラマチ（東京都墨田区押上）5F イベントスペース 634

【内容】自治体パートナー登録をしている日本野菜ソムリエ協会主催の大規模イベントにブース出展し、梨の試食PR、ステージPR及び梨新品種プレゼントを実施します。

6 ABCクッキングスタジオで新甘泉・なつひめワークショップ

【開催日】9月8日(日)

【場所】ABCクッキングスタジオ丸の内グランド（東京都千代田区丸の内）

【内容】新甘泉・なつひめを使った料理教室や食のみやこアンバサダー東尾理子氏と平井知事のミニワークショップを開催します。

7 その他

①百貨店において新甘泉の試食PRを実施します。（恵比寿三越店（9/1）、千葉三越店（9/7））

②雑誌へ広告を掲載します。（「Mart」（8/28発売）、「オレンジページ」（9/2発売））

③マスコミPRキャラバンを実施します。（8/22～23、15社程度訪問予定（新聞・雑誌・WEB））

（参考）

関西圏では、大阪市中央卸売市場本場での梨初販売式や量販店での試食等により、PRを実施予定です。

平成25年度「食のみやこ鳥取県」特産品コンクールの審査結果について

平成25年8月21日

食のみやこ推進課

鳥取県産の農林水産物を主原料とした加工食品、又は県産の農林水産物の特徴を活かした加工食品の中から優れた商品を表彰・PRし、加工技術の向上と新商品の販路開拓や販売力の強化を図ることを目的として「食のみやこ鳥取県」特産品コンクールを開催した結果は、以下のとおりでした。

1 審査結果

区分	商品名	企業名
最優秀賞	砂の丘(鹿野町産生姜和風クッキー)	有限会社宝月堂(鳥取市二階町)
優秀賞	黒らっきょうカレージャン	株式会社グラン・クリュ食工房(鳥取市東町)
	とっとりSKY	北条ワイン醸造所(北栄町松神)
優良賞	田中農場ネギネージュ	有限会社田中農場(八頭町下坂)
	Love Mead	福田養蜂場(鳥取市国府町)
	桜ジャム	池田さつきグループ(若桜町須澄)

2 最優秀賞に対する講評

商品名：砂の丘(鹿野町産生姜和風クッキー)

苳矩(これのり)生姜の風味が利いていて、バランスのとれた上品なおいしさが魅力。パウダーをまぶした和風クッキーが「砂の丘」というネーミングに非常にマッチしている。鳥取の風景をデザインしたパッケージも完成度が高く、鳥取らしさにあふれたお土産にも最適な商品である。

3 表彰式

- (1) 日 時 8月22日(木) 午前11時30分～50分
- (2) 場 所 第4応接室(県庁本庁舎3階)

4 今後の展開

- (1) 最優秀商品は、全国食品コンクール(優良ふるさと食品中央コンクール)の県推薦商品とする。
- (2) BSSラジオ「食のみやこ鳥取探検隊が行く」コーナーで、事業者生出演による商品の紹介を優先的に行う。
- (3) 受賞者へ、県や商工団体等が主催する商談会等開催の案内をする。
- (4) 食のみやこ鳥取県フェスタ等の関連イベント、県のホームページ等で商品を紹介する。

5 審査の概要

- (1) 日 時 8月6日(火) 午後1時10分～4時35分
- (2) 会 場 鳥取県立福祉人材研修センター(鳥取市伏野1729-5)
- (3) 審査委員 鳥取短期大学松島文子教授ほか7名(学識経験者、食品関係団体、消費者団体代表)
- (4) 審査基準 ①品質 ②パッケージ ③市場性
- (5) 出品数 17商品(13事業者)
- (6) 募集条件
 - 県産農林水産物を主原料とし、又はその特徴を活かした加工食品
 - 商品化又は改良されてから3年以内(平成22年4月～平成25年3月)の商品
 - 現在販売中のもので安定的な市場出荷が可能なもの 等
- (7) 事前審査 応募された商品のラベル等について、食品衛生法、JAS法及び景品表示法等の法令に適合しているか事前に審査を行った。
- (8) 募集期間 3月18日～5月17日



「砂の丘」

【参考】

平成22年度最優秀賞の「紅ずわいがにかにおこわ(有)前田水産」が平成23年度優良ふるさと食品中央コンクールで農林水産大臣賞を受賞した。

